

運輸安全マネジメントの取組み

山梨総合運輸株式会社は、経営トップをはじめ全社員が運送の安全の重要性を深く認識し、安全を最優先とした取組みを行なってきました。

第18期（平成22年度）は「輸送の安全に対する基本的な方針」に基づき、より一層安全な輸送を実現すべく全社員が一丸となって取り組んで参ります。

1、輸送の安全に対する基本的な方針

- (1) 全社員に対して、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、その実現のため経営トップが主導的な役割を果たし、全社員が一丸となって取り組み、絶えず安全性の向上を図る。
- (2) 輸送の安全に関する取り組み状況等の情報について、積極的に公表する。
- (3) 安全に対する基本的な方針及びそれに基づく目標・計画を全社員に周知・徹底する。
- (4) 公共の道路を使用しているという認識を常に持ち、運転に関する知識・技能の研鑽に努め、人身事故の防止を図る。
- (5) プロドライバーとしての自覚を高め、悪質違反を絶対にさせない。
(酒酔い運転、酒気帯び運転、過労運転、薬物等使用運転、無免許・無資格運転、過積載運転、最高速度違反、救護義務違反)
- (6) 参加・体験・実践型の研修・指導等の実施により、運転者の能力向上を図る。

2、輸送の安全に関する目標

- (1) 交通事故の減少目標
 - 人身事故・・・ゼロ件
 - 物損事故・・・1件（昨年度50%減）
 - 自損事故・・・ゼロ件（前年比100%減）
- (2) 輸送の安全に対する投資

アルコールチェッカーの導入	1台	400,000円
乗務員及び指導者・管理者への安全教育の実施	年2回	
悪質違反の防止に関する研修の実施	年2回	
全運転者の「運転記録証明書」を取り寄せて個別に活用	年1回	
運行管理者に「適性診断活用講座」を受講させ、運転者に対する個別指導に活用		
運転技能向上を目的とした外部研修会への参加	年1回	

3、事故に関する統計（自動車事故報告規則第2条に規定する事故）

平成21年度・・・ゼロ件

平成22年4月1日
山梨総合運輸株式会社
代表取締役社長 久保川 龍之

平成22年度 実施結果の評価

1、概要

年間を通じ、人身事故を含む重大な事故の発生は無く推移することが出来た。但し、構内での車輛操作時に他車と接触する事故が2件発生し、運転技量向上とバックモニターなどの機器装備の検討が継続課題である。

また、輸送安全に関する機器類の購入は計画を満ちし、今年度から義務化されたアルコールチェッカーの配置、活用は実施されている。

2、実績数値

(1) 交通事故の減少

項目	目標	実績
人身事故	ゼロ件	ゼロ件
物損事故	1件	2件
自損事故	ゼロ件	ゼロ件

(2) 輸送の安全に対する投資

	目標	実績
アルコールチェッカーの導入	1台	4台
乗務員及び指導者・管理者への安全教育の実施	年2回	22/6・/12
悪質違反の防止に関する研修の実施	年2回	22/6・/12
全運転者の「運転記録証明書」を取り個別指導	年1回	年1回
「適性診断活用講座」受講し運転者の個別指導		実施継続
運転技能向上目的の外部研修会への参加	年1回	22/11

(3) 事故に関する統計（自動車事故報告規則第2条に規定される事故）

平成22年度	ゼロ件	ゼロ件
--------	-----	-----

以上

平成23年4月1日
山梨総合運輸株式会社
代表取締役社長 沖山 猛